



ガーデニングの楽しさを多くの人に伝えたい 第11回国際バラとガーデニングショウ ガーデン部門で大賞を受賞

きれいに手入れの行き届いた庭は、その家の人だけでなく、訪れた人の心までも癒してくれま

す。ガーデニングを受賞された清水守也さん、きよみさんご夫妻も、ガーデニングに熱い情熱を注いでいるお二人です。

清水さんご夫妻が、ガーデニングを職業として始めるようになったのは、20年ほど前に購入した家が、庭とのバランスが取れていないことに違和感を持ち、自分たちで造ってみようと思ったのがきっかけでした。もともと、建築・土木を仕事としていた清水さんは、独学で、型にはまらない自分のセンスを磨くことに精進し、平成6年に本格的に職業とするようになりました。

身近な庭を提案し、お客様に長く楽しんでいただけることです。1・2回の出展で大賞を受賞していたら、そこで満足してしまつて、今がなかったかも

しれません。出展し続ける大変さもありませんでしたが、毎年、受験生のような気持ちで挑戦して受賞できたからこそ、周りの皆さんにも喜んでもらえたいし、感謝の気持ちも沸き、人間的にも一回り大きくなれたような気がします」と受賞の喜びを清水さんは語ります。



これからも情熱を持ってチャレンジしていきます

(有)清水工業 ガーデン(狭山台)

清水守也さん・きよみさん



大賞(国土交通大臣賞)受賞作品「Happy Birthday」



ガーデニング教室の様子



きれいな作品ができました

今回、9回目の出展で大賞に選ばれた作品「ハッピーバースデー」は、老若男女だれでも1年に1回訪れる幸せな1日を、大事に育てた植物と一緒に祝いしようという思いを込めて表現しました。「ガーデニングの魅力は、決してアート(芸術)な部分だけではなく、自然との調和、

また、きよみさんもガーデニング教室の講師をしていて、その際に、受講者の皆さんに話すことは、「ガーデニング」の「ガ」は、「がんばらな

い」の「が」ということです。きれいな庭を造っても、手入れが大変だと思われるのではなく、理想の庭だそうです。たくさんの人にガーデニングを楽しんでもらえるよう、PTAの集まりや小中学校でも出張教室を行っています。最後に、清水さんは、こう語ってくれました。「これからも、自分のセンスを磨くことを怠らず、身近でおしゃれな庭を提案していきたいと思えます。庭ができて、地域の交流や心の癒しに、少しでも役に立てれば、私たちも楽しんで仕事ができます」清水さんご夫妻は、今後もガーデニングショウにチャレンジを続けていく意欲をお持ちで、ますますの活躍が期待されます。

オピニオン

作者の人生に彩りを添えるために



堀江とみ子さん
(中央在住)

私が母のように慕う方で、介護を必要とし入院生活を余儀なくされている女性がいます。自らの置かれた境遇に嘆くことなく、日々の生活を努めて明るく前向きに過ごして、その姿勢にいつも感心させられています。その方は、病院のスタッフの方とのふれあいや、窓から見える風景などを短歌にしているのですが、その作品がとてもすばらしく心に響き、いつも穏やかな気持ちにさせられます。

「嘗てなき この安らぎをおぼえしは 菩薩と語り限りなき愛」この作品は、窓から見えるところに頼み仏があり、近隣の方々が手を合わせる様子に心を動かされ、短歌に詠んだものですが、ほかにも多くの作品を作られています。今では、病院の方々の理解もあって、施設内に掲示することができ、本人もとても喜んでます。

病と戦い不自由な生活の中にも、俳句や絵画などの趣味を生きがいになっている方は多いと思いますので、作品を展示したり発表できる場を設けていただけないのでしょうか。出展や発表することで、作者自身の生活がより豊かなものになればと願っています。

市の考え方

貴重なご意見ありがとうございます。

現在の境遇を真摯に受け止めて、入院生活を送りながら、おおらかに、日々明るく前向きに創作活動に励む姿勢に敬服します。市では今年の秋、市役所1階エントランスホールで「狭山市シニア趣味の作品展」を開催する予定です。ぜひ、ご出展いただければと思います。

今後も、市民の皆さんのご意見に耳を傾けながら、さまざまな機会を提供していきたいと考えています。

担当 高齢者支援課

皆さんの「声」をお待ちしています。
お寄せいただく際は、住所、氏名、電話番号をご記入ください。☎2954 6262(代)
✉koho@city.sayama.saitama.jp

問合せ海老澤止さんへ
2959 7686

一般的に男性は、退職後地域に溶け込むことが難しいと言われますが、私たちは、仲間の和と協調性を重視しているからこそ、ここまで長く続けられているのだと思います。
会の事業として、7月17日の13時30分から、入曽公民館でエゴ講演会を開催します。参加申し込みは不要ですので、皆さんお気軽にご参加ください。

私の宝物 ...

遠く懐かしい思い出の箱

私は、小学校を卒業するときに、担任の先生からいただいた、きれいな箱のオルゴールを大切にしています。あれからもう半世紀が過ぎましたが、故障することもなく、そっとふたを開けると、今でも美しいメロディーが優しく私の心を包みます。当時、幼心にも先生の真心がうれしくて、卒業して先生と別れるのがとても悲しい気持ちになったことをおぼえています。



大橋千代子さん
(入間川在住)



五木の子守唄を奏でる懐かしいオルゴール

あわただしい今の生活になっても、このオルゴールは時を止め、遠く懐かしい子ども時代をよみがえらせてくれる私の大切な宝物なのです。

今回は、友人で青柳にお住まいの方をご紹介します。

Hello ハロー仲間たち

Vol.335



和と協調性を重視して、地域活動にかかわっています

ゆうゆう会

私たちは、入間公民館 現在の入曽公民館で開催された男性講座の受講生が、せっかくなできた仲間が、講座が終了して、別れるのは惜しいという気持ちから、平成11年に結成した男性サークルです。

会の名称は、「友」「遊」「余裕」「悠々」という言葉を連想して名づけました。毎週グラウンドゴルフで健康維持を図ったり、勉強会や施設見学会、料理教室などを行っています。また、自らの経験を地域に還元する目的で、これまで、社会福祉協議会の配食サービスのお手伝いや年金講座などを実施してきました。